

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・合奏や音楽づくりなど、音楽を楽しんで表現する児童が増えた。
- ・いろいろな楽器に興味をもち、すすんで演奏する児童が増えた。
- ・ICT機器を活用して、個別最適な学びや協働的な学びができるようになった。

(2) 課題

- ・意欲をもって取り組めるような教材、指導の工夫を行う。
- ・一人ひとりの意欲は高まってきているが、技能の差はまだ大きいので、それに応じた指導が必要である。
- ・音を実際に奏でることができるようになったので、児童が表したい音楽表現ができるような指導の工夫を行う。

2 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲に合った歌い方や弾き方を意識している児童が多い。 ・鍵盤ハーモニカでは指使いや指くぐりや指またぎ、同音を連続で弾く際のタンギングでつまずくことがある。 ・曲に合った歌い方や弾き方、リズム打ちを意識している児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の気分を感じ取りながら聴いている。 ・曲に合わせて自由に体を動かしたり、手拍子をしたりしながら音楽を聴く活動に意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しもうとする児童が多い。 ・想像したことや表現に対する思いを、自分なりの言葉で表現しようとする児童が多い。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・正しい運指でリコーダーが吹けるようになってきている。 ・強弱記号を正しく理解し、積極的に声を出して歌唱することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取ったり、感じ取ったことを自分の力で音楽表現したりすることができるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の学習に意欲的に取り組む児童が多い。 ・感じたこと、気付いたことを自分の言葉で相手に伝えようとする児童が多い。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項をもとに、楽器の特徴を生かして演奏しようとしている。 ・正しい音程で歌唱できる児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の構造や音楽を形づくっている要素に気を付けながら、楽曲を聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組めるようになった。 ・演奏経験のない楽器を積極的に選択し、仲間と協力しながら練習しようとする姿勢が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 模奏を多くして、音色、リズム、強弱などに気を付けて、演奏できるようにする。演奏する力を伸ばすため、個人練習や友達と教え合う時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 想像したことや感じ取ったことを言葉で表す活動を設定していく。交流する場を設定し、伝え合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の気分や歌詞の気持ちを感じて、言葉や体で表したり友だちと伝え合ったりする活動を、楽しくできるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> リコーダーを演奏する時の姿勢や指使い、息の使い方を意識させるために、模奏を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴いて想像したことや感じ取ったことを、言語活動を通して伝え合えるようにする。 音楽のどこから感じたかを確認し言葉で示すようにすることで、楽曲の構造や音楽を形づくっている要素に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な楽器を使用する教材をさらに扱っていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 様々な演奏形態の合奏を経験したり、音楽を聴いたりすることで、表現に対する視野を広げ、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の楽曲や楽器の音色を聴くことにより、聴く楽しさが感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの意欲を大切に、手だての工夫をする。 児童の興味や関心に応じた教材選択をする。 合唱や合奏の機会を多く設けて、学級・学年全体で一つのものをつくる楽しさを感じさせる。